

4月の都内経済状況







営業開発部

| 項目 | 天気図 | コメント | |
|--------------|---|--|--|
| 現在の景気動向 |  | 4月の都内の景気は緩やかに回復しているが、一部に弱い動きも見られる。スーパー・コンビニエンスストアの売上は前年を上回ったが、百貨店の売上は2ヵ月連続で前年を下回った。乗用車販売は10ヵ月ぶりに前年を上回った。住宅着工は3ヵ月連続で増加し、公共投資は4ヵ月連続で増加した。輸出は6ヵ月連続で前年を下回った。有効求人倍率は7ヵ月連続で上昇した。工業生産(3月)は3ヵ月ぶりに前月から増加した。28年1~3月期の関東大企業の設備投資は増加したが、経常損益は減益となった。 | |
| 今後の見通し(3ヵ月) |  | 都内の景気は一部に弱い動きも見られるが、引き続き緩やかな回復が期待される。中国など新興国の景気下振れや金融資本市場の変動が今後のリスク要因となっている。熊本地震の影響にも注視の必要がある。 | |
| 個人消費費 | 百貨店売上高 |  | 百貨店売上高は、前年同月比▲2.6%と2ヵ月連続で前年を下回った(既存店ベース)。雑貨や食料品は増加したが、主力の衣料品が婦人服・紳士服を中心に6ヵ月連続で前年を下回り、身のまわり品、家庭用品も減少した。訪日外国人客の購買などで化粧品は増加したが、美術・宝飾・貴金属は株価の低迷などから減少した。 |
| | スーパー売上高 |  | スーパーの売上高は、前年同月比0.9%増と2ヵ月ぶりに前年を上回った(既存店ベース)。中旬以降の気温低下で衣料品は苦戦したが、主力の食料品は行楽需要などもあって堅調だった。 |
| | コンビニ売上(関東) |  | 関東地区のコンビニエンスストアの売上高は、前年同月比3.6%増と38ヵ月連続で前年を上回った(全店ベース)。花見などの行楽需要で弁当、飲料などが伸びた。 |
| | 乗用車登録台数 |  | 乗用車販売台数(軽を含む)は、前年同月比1.3%増と10ヵ月ぶりに前年を上回った。車種別では、軽乗用車(同▲21.7%)は16ヵ月連続で前年を下回ったが、普通車(同7.7%増)は2ヵ月ぶりに、小型車(同5.1%増)は5ヵ月ぶりにそれぞれ前年を上回った。 |
| 住宅建設 |  | 住宅着工戸数は、前年同月比9.3%増と3ヵ月連続で前年を上回った。利用関係別では、持家(同▲7.9%)は3ヵ月ぶりに前年を下回ったが、分譲一戸建て(同10.6%増)は2ヵ月ぶりに、分譲マンション(同0.9%増)は2ヵ月連続で、貸家(同20.1%増)は2ヵ月ぶりにそれぞれ前年を上回った。 | |
| 公共投資 |  | 公共工事請負金額は、前年同月比47.6%増と4ヵ月連続で前年を上回った。発注者別では、独立行政法人(同▲23.3%)、地方公社(同▲59.2%)は減少したが、国(同30.0%増)、東京都(同79.5%増)、市区町村(同61.6%増)が増加した。 | |
| 貿易(東京税関管内) |  | 東京税関管内の輸出額は前年同月比▲8.7%と6ヵ月連続で前年を下回った。主要地域別では、EU向け(同7.7%増)は増加したが、アメリカ向け(同▲17.9%)、中国向け(同▲1.7%)、アジアNIEs向け(同▲11.2%)、ASEAN向け(同▲11.1%)が減少した。 | |
| 設備投資(関東、大企業) |  | 財務省「法人企業統計調査」関東財務局管内分大企業集計によると、関東の法人大企業(資本金10億円以上、金融・保険業を除く)の28年1~3月期の設備投資額は、全産業が前年同期比6.7%増、製造業が同10.9%増、非製造業が同4.5%増となっている。 | |
| 企業収益(関東、大企業) |  | 同上調査によると、関東の法人大企業(同上)の28年1~3月期の経常損益は、全産業が前年同期比▲25.7%、製造業が同▲37.2%、非製造業が同▲18.6%となっている。 | |
| 労働需給 |  | 有効求人倍率(季調値)は2.02倍と、前月から0.07ポイント上昇した。有効求人倍率の上昇は7ヵ月連続。先行指標とされる新規求人数は前年同月比5.5%増と9ヵ月連続で前年を上回った。南関東の完全失業率は3.3%で、前月から0.1ポイント低下した。完全失業率の改善は6ヵ月ぶり。 | |
| 企業倒産 |  | 企業倒産件数は前年同月比▲15.6%と7ヵ月ぶりに減少し、負債総額も同▲61.1%と3ヵ月ぶりに減少した。1~4月累計の倒産件数を業種別にみると、全体が前年同期比0.4%増で、小売業(同45.8%増)、飲食店・宿泊業(同20.0%増)、不動産業(同17.4%増)などが増加し、卸売業(同▲12.2%)、サービス業(同▲13.9%)、建設業(同▲2.9%)、情報通信業(同▲7.5%)、製造業(同▲19.4%)などが減少した。 | |
| 資金需要(銀行) |  | 銀行の都内向け貸出残高は前年同月比3.7%増と56ヵ月連続で前年を上回った。増加幅は前月と同じだった。 | |

| 工業生産指数(季調値) ()は前年同月比% | 工業在庫指数(季調値) ()は前年同月比% | 消費者物価指数 ()は前年同月比% | (一〇メモ) 訪都外国人旅行者数は初の1,000万人超え 東京都の発表によると、2015年東京都を訪れた外国人旅行者数は、前年比34.0%増の約1,189万人と、3年連続で過去最多を更新した(都内宿泊客は約901万人、日帰り客約288万人)。また、外国人旅行者の観光消費額(都内での消費総額)は、同42.0%増の11,150億円だった。 |
|---------------------------|---------------------------|-----------------------|---|
| 1月 98.1 (▲9.0) | 1月 112.3 (7.0) | 2月 101.7 (0.1) | |
| 2月 93.9 (▲2.6) | 2月 108.8 (9.6) | 3月 102.0 (▲0.1) | |
| 3月 96.6 (▲0.6) | 3月 120.9 (6.8) | 4月 102.0 (▲0.4) | |

*工業生産指数・在庫指数、消費者物価指数は2010年平均=100。*工業生産指数・在庫指数の前年同月比は、原数値による。

表は、都内経済の最新のデータを集めた当行独自のものです。なお、お天気マークは当部の判断です。

| 天気図表示の意味 |  |  |  |  |  |  |
|----------|---|---|---|--|---|---|
| | 晴れ | 晴れ時々曇り | 薄曇り | 曇り | 小雨 | 雨 |